

小矢部市新庁舎整備工事に係る

サウンディング型市場調査の結果（概要）について

1 調査目的

「小矢部市新庁舎整備工事」への参加意欲及び入札参加資格要件等について、民間事業者と対話を行うことで、実情を把握、検証し、民間事業者が参加しやすい入札参加資格要件等を検討することを目的とします。

2 調査期間

(1) アンケートの実施期間 令和8年1月13日（火）から令和8年1月27日（火）まで

(2) 個別対話の実施期間 令和8年2月3日（火）から令和8年2月13日（金）まで

3 調査対象者

令和7・8年度の小矢部市競争入札参加資格審査申請に際し提出された、経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書の建築一式工事の総合評定値（P）が1,600点以上である者

4 調査結果

(1) アンケートの協力者数 5者

(2) 個別対話参加者数 4者

(3) 主な意見等

ア 発注方法について

- (ア) 一括発注方式（機械設備及び電気設備を含む建築一式工事）及び分離発注方式（建築工事のみ）のどちらも参加可能という意見が複数あった。
- (イ) 設備業者の確保が難しいことから、分離発注方式（従来どおり）での参加を希望する意見が複数あった。

イ 設備業者の確保について（一括発注方式の場合）

設備業者を確保する場合は、早い段階から動く必要があり、工事公告時点では間に合わないとの意見が複数あった。

ウ 発注期間について

- (ア) 共同企業体の組成期間については、2週間～3週間程度を必要とする意見があった。
- (イ) 公告から入札までの期間については、2か月～3か月程度を必要とする意見があった。
- (ウ) 質疑回答から入札までの期間については、2週間～4週間を必要とする意見があった。

エ 参加形態について（建築工事）

- (ア) 工事規模及び技術者不足等の理由から、3者以内の共同企業体で参加を希望する意見が複数あった。
- (イ) 3者を超える共同企業体の場合は、意見調整が難しく一体感が失われることや、構成員を揃えられないことなどから、3者以内の共同企業体を希望する意見が複数あった。
- (ウ) 施工実績や共同企業体組成には時間を要する等の理由から、単独（1者）での参加を希望する意見が複数あった。

オ 市内業者及び準市内業者で建築工事の格付けがAランクの者との共同企業体組成について

- (ア) 実績及び技術者が揃えられる等の理由から、対応が可能との意見があった。
- (イ) 過去に取引がないことや、業者数が少ない等の理由から、対応は困難であるとの意見が複数あった。

カ 施工実績（庁舎等の免震構造物で延床面積が6,000㎡以上など）について

施工実績については、問題なく有するという意見が大半であった。

キ 配置予定技術者について

- (ア) 実績のある技術者を問題なく配置できるとの意見があった。
- (イ) 施工時期に実績のある技術者を配置できるか不明確のため、条件付き又は困難との意見があった。
- (ウ) 実績のある技術者を配置するためには、監理技術者又は主任技術者以外に担当技術者を加えるなど、配置予定技術者要件の緩和を求める意見が複数あった。

ク 工事期間について

基本設計において試算した工事期間について、杭及び免震装置などの材料に納期がかかるとの見込みや、週休2日などの働き方改革により、工期不足との意見があり、また、現在の工期（19 か月）より1 か月から4 か月多く必要であるとの意見が複数あった。

ケ 着工時期について

着工時期に配置予定技術者を確保できるかについて、会社の受注状況によっては人員不足となる可能性があるため、条件付きで対応可能との意見が複数あった。なお、配置予定技術者の条件緩和により、対応しやすくなるとの意見も複数あった。

コ 施工の難易度について

(ア) 問題なく施工可能であるとの意見が大半であった。

(イ) 現庁舎敷地での建替えとなることから、工事範囲は狭小なため、仮設計画（資材搬入及び揚重方法等）の難易度は高くなるとの意見があった。